

1st

## AYA Cancer Symposium

## 思春期・若年成人(AYA)世代とがん

## 一般向けシンポジウム

対象：  
AYA 世代がん患者家族  
及び関心のある一般市民

2018年2月17日(土)  
13:30-16:30

場所：

ウインクあいち小ホール  
〒450-0002  
愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38

参加費無料

AYA 世代(15-39歳)は、就学、就労、結婚等の様々な出来事が闘病と重なる時期でもあり、罹患や治療に伴いライフプランの変更を余儀なくされることも少なくなく、特有の心理社会的課題があると言われています。そこで、平成27-29年度厚生労働科学研究費補助金(がん対策推進総合研究事業)「総合的な思春期・若年成人(AYA)世代のがん対策のあり方に関する研究」にてAYA世代がんの診療及び患者家族の実態調査をはじめとする研究を行いました。この度、本研究の成果をもとにしてAYA世代がんの現状と課題についてAYA世代がん患者家族と共有を図り、より良い環境整備に向けた意見交換を行うことを目的として以下のようにシンポジウムを企画いたしました。是非、ご参加ください。

#### 司会

堀部 敬三(国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センターセンター長)

天野 慎介(一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパン、一般社団法人全国がん患者連合会理事長)

#### シンポジスト

AYA 世代がん患者の特徴とニーズ

清水 千佳子(国立がん研究センター中央病院乳腺・腫瘍内科医長)

サバイバーシップ・コミュニケーション(親、きょうだいを含む)

小澤 美和(聖路加国際病院小児科医長)

生殖

古井 辰郎(岐阜大学医学系研究科・産婦人科学分野准教授)

社会的支援(学業・仕事・経済・社会制度)

樋口 明子(公益財団法人がんの子どもを守る会ソーシャルワーカー)

患者の立場から

桜井 なおみ(株式会社キャンサーソリューションズ)

ディスカッション

主 催：平成27-29年度厚生労働科学研究費補助金(がん対策推進総合研究事業)

「総合的な思春期・若年成人(AYA)世代のがん対策のあり方に関する研究」

研究代表者 堀部 敬三(国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センターセンター長)

後 援：愛知県、日本小児血液・がん学会、日本癌治療学会、日本臨床腫瘍学会、日本緩和医療学会、日本サイコオンコロジー学会、日本がん・生殖医療学会、日本がんサポーターケア学会、日本小児がん看護会、日本がん看護学会、全国がん患者団体連合会、公益財団法人がんの子どもを守る会

#### 事前申込が必要です。

参加ご希望の方は

- ① 参加者氏名
- ② 参加者メールアドレス
- ③ 参加者所属
  - ・ AYA 世代がん患者
  - ・ AYA 世代がん患者の家族
  - ・ 医療従事者
  - ・ その他(具体的に)

④参加人数

⑤本シンポジウムに期待することを明記の上、以下にメールにてお申込みください。

research.office@nnh.go.jp

問い合わせ・申込先

独立行政法人国立病院機構

名古屋医療センター臨床研究センター内

Tel 052-951-1111